



議会だより

平成18年7月26日発行（創刊号）



議会日誌

平成18年1月～3月

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1月19日 第1回臨時会 | 17日 議会運営委員会 |
| 2月15日 紀南社会福祉施設組合他一部事務組合議会
（御浜町） | 22日 第1回定例会・第2日目 |
| 16日 紀宝バイパス要望活動（紀勢国道事務所） | 23日 第1回定例会・第3日目 |
| 17日 議会運営委員会 | 24日 第1回定例会・第4日目 |
| 熊野川流域ダム湖下流団体協議会臨時総会
（新宮市） | 25日 第1回定例会・第5日目 |
| 21日 三重県町村議会議長会評議員会（津市） | 28日 紀南病院組合議会（御浜町） |
| 三重県市町村職員退職手当組合議会（津市） | 紀南社会福祉施設組合議会（御浜町） |
| 24日 紀南環境衛生施設事務組合議会（新宮市） | 紀南特別養護老人ホーム組合議会（御浜町） |
| 28日 紀南介護保険広域連合議会（熊野市） | 南牟婁清掃施設組合議会（御浜町） |
| 3月 2日 議会運営委員会 | 環境保全対策特別委員会 |
| 9日 第1回定例会・第1日目 | 29日 三重県市町村職員退職手当組合議会臨時会
（津市） |
| 13日 全員協議会 | 30日 東紀州農業共済事務組合議会全員協議会・定例会
（熊野市） |

議会構成

（◎は委員長 ○は副委員長）

常任委員会委員や議会運営委員会委員、六つの特別委員会委員、一部事務組合議会議員、紀南介護保険広域連合議会議員、議会選出監査委員の構成は、次のとおりです。

（委員長、副委員長以下は、議席順）

◆井田海岸浸食対策

◎田中 靖人	○鈴木 學	北山 千恵	阪本 守央
野村 正視	上道 博宣	福岡 功一	

◆井内工業団地

◎福岡 功一	○東 美保子	田中 靖人	阪本 守央
荻屋 幹生	鈴木 學	地案 光徳	

◆環境保全

◎市川 潔	○井本 芳孝	大石 洋	向井 健雅
山根 忠男	清水 啓一	池田 嘉徳	

◆港湾対策

◎向井 健雅	○榎本 健治	大石 洋	平野美津子
石垣 憲一	上地 繁	門脇 庸二	

一部事務組合議会議員

◆東紀州農業共済事務組合議会

市川 潔	阪本 守央
------	-------

◆紀南環境衛生施設事務組合議会

荻屋 幹生	清水 啓一	登立 元吉	矢熊 達雄
-------	-------	-------	-------

◆紀南病院組合議会

東 美保子	野村 正視	尾畑 啓嗣
-------	-------	-------

紀南介護保険広域連合議会議員

尾畑 啓嗣	井本 芳孝	登立 元吉
-------	-------	-------

議会選出監査委員

田中 靖人

◎熊野川流域対策	◎登立 元吉	○尾畑 啓嗣	東 美保子	野村 正視
清水 啓一	井本 芳孝	地案 光徳		

◆紀宝バイパス対策

◎門脇 庸二	○石垣 憲一	市川 潔	上地 繁
上道 博宣	池田 嘉徳	登立 元吉	

議会運営委員会

◎榎本 健治	○田中 靖人	大石 洋	福岡 功一
--------	--------	------	-------

特別委員会

◆産業土木

◎尾畑 啓嗣	○荻屋 幹生	大石 洋	向井 健雅
石垣 憲一	野村 正視	山根 忠男	上地 繁
上道 博宣	池田 嘉徳	地案 光徳	福岡 功一

常任委員会

◆総務教育民生

◎北山 千恵	○平野美津子	田中 靖人	市川 潔
阪本 守央	東 美保子	榎本 健治	鈴木 學
門脇 庸二	清水 啓一	井本 芳孝	登立 元吉
矢熊 達雄			

新・紀宝町議会

25人の体制で動きだす

合併後、初めての臨時議会が1月19日に開かれました。

この臨時議会で、議員による選挙の結果、議長に矢熊達雄議員、副議長に山根忠男議員がそれぞれ選ばれました。常任委員会委員なども選出され、25人の新体制で議会が動き出しました。

3月定例会 一般質問

（要約）

平成十八年第一回紀宝町議会定例会は三月九日に開会しました。
第一日目は、初めに、議会活動報告が行われ、続いて、町長から、新年度に臨む大綱説明及び各般についての行政報告がありました。
その後、議案審議に入り、収入役、固定資産評価審査委員等の人事選任案件の他、条例の制定や十七年度予算案件など合計四十三件の議案を原案通り可決しました。
第二日目の二十二日、第三日の二十三日及び第四日の二十四日は、一般質問が行われ、十五人の議員が町長の政治姿勢や選挙公約などについて、活発な議論が交わされました。
第五日目の二十五日には、平成十八年度一般会計予算案並びに五つの特別会計予算案を中心に質疑を行い、十三議案を可決しました。その後、議員発議による意見書二件を可決し、閉会しました。

政を行うのか。合併して20年、30年後を見据えた行政運営に力を入れていくのか。お聞きします。

町長

新町の町づくりの方向性は、20年後、30年後を見据えた行政運営が求められてくると思います。これからは将来を見定めてきちっとした形の中で皆様方のご協力ご支援をいただきながら行政運営を進めてまいりたい。

議員

長い目で見た行政運営を強く要望いたします。

次に、選挙公約の中で、保育料の年間三万六千円の軽減という金額を今回打ち出して

おります。この根拠をお聞きします。

町長

一か月一律三千円と言うことではなく、各階層区分ごとに軽減率を試算し、年間約三万六千円程度を目途にした形の中で、決定してまいりたい。

議員

下げるのは反対ではないが、保育料を軽減する理由を明確にし、方法についてももっと時間をかけて町民が理解できるような形にするべきだと思うのですが。

町長

徹底した行財政改革を進める中で、これから厳しい財政状況の中、諸選択をしながら

メリハリをつけた行政運営というのの必要になってくると思います。保育料の料金等の方法については、十分検討して進めてまいりたい。

議員

次に、公約の中の紀宝バイパス早期完成と河口大橋の八年後実現について、この河口大橋の問題は、八年後という目途というか、国土交通省より聞いているのか。

町長

河口大橋の建設は、地域間の交流や輸送力の強化、災害救助対策として、熊野川河口に橋をかける会が中心となり、関係機関に要望活動を行ってきました。国土交通省におい

新町計画

議員

これからの新紀宝町、自分だけが良かれというような行

井田海岸

議員

井田海岸についてですが、



第1回臨時会

町長はどのように認識されているのか。

町長

井田海岸の問題は、特に井田地区の皆様方の生命財産を守るという意味では、大変憂慮いたしております。昭和五

十年から浸食が始まり、旧紀宝町の皆様方が、日夜努力を重ねられ、今日の災害対策等に取り組んでこられたことについては、心から感謝申し上げます。今後更なる安全安心できる対策を講じてまいりたい。

議員

そこで町長。特別委員会の中で、井田海岸を一度歩いていただき、危険な箇所等写真を撮り、町長言われたように、安全安心できる対策に取り組んでいただきたい。

町長

ご指摘のように、できるだけ早い時期に、現実地域の皆様方の声を聞き、鋭意取り組んでまいりたい。事業等についてもその検証結果を踏まえて、これからの海岸事業の対策にしていきたい。

議員

是非早い機会に現状を見ていただき、対策を練ってもらいたい。

井田川改修

議員

井田川の改修については、県河川になりますので、いろいろな形で県へ陳情してきま

した。県は、測量しますと言っていたがしてくれていない。この辺りは浸水にもあいますし、予算がつけばすぐ改修できるような状態に地元はなっている。町長としての決意をお聞かせ願います。

町長

井田川改修の現況につきまして、未だ改修されていない状況にあります。今後は、安心安全の町づくりを進めるためにも、狼谷地区の被害状況等強く訴えて、早期着工に向けた要望活動を鋭意努力してまいりたい。

議員

住宅もそうですが、農地を持つている方の田もすべて冠水するので、一日でも早い完成をお願いしたい。トップとして、強い意志で県に物申したい。

町長

町民皆様方の意見の代弁者として、これから県等に誠心誠意努力をして、早期着工に向け、要望活動を行ってまいりたい。

※この他に、学校関係の件について、紀南中核的交流施設整備事業の件について質問がありました。

- ・5つの約束ごと（選挙公約）について
- ・産業振興会館について

向井健雅 議員

では、短期的、中期的、長期的なもの等いろいろな手法があるかと思えます。短期的なものについては、できるものから実行してまいりたい。まず三役の報酬を一〇％軽減させていただきました。職員の意識改革、サービス業にふさわしい職員教育の実施を行ってまいりたい。明るい職場づくり、働き甲斐のある職場づくりから進めていく必要があります。

議員

民間でやられているような手法等いろんな手法を研究いただいて、もつと職員の意識を高めていただきたいと思います。次に二番目の休日保育、一時保育等いところからやるのか、お聞きます。

町長

どの保育所で実施するのが良いのか、保育料等はどういった形になるのかなど、保護者のニーズ調査を実施し、休日保育、一時保育の実施に向けて検討してまいりたい。

議員

児童公園の整備ということで、どの地域に公園を造る計画があるのか、お聞きます。

町長

違う状況に進んでいる。そういう状況にはないと思う。

議員

この減額は、若い人達、また町民も大変喜んでいる。この軽減策は一律なのか。この比率割なのか。十何段階ある段階を比率割するおりは三段階ぐらいに分けて軽減度が高いようにしていただきたいが。

町長

保育料は段階がございまして、まずこの段階を旧町村統一していかなければいけないと思います。標準的な部分は三万六千円程度の部分を中心に軽減を図ってまいりたい。

議員

国は少子化の歯止めのために大変力を入れている。財源は強く国や県に支援いただくような格好をとっていただけないか。

町長

保育料の問題という形の中で、少子化対策について、更なる支援をしていただくよう、町村会等通じて、国の方をお願いしてまいりたい。

議員

若者の住宅支援について、国もさまざまな支援策を打ち出しているが、町としてのど

都市部など車の交通量の多い部分で、子どもたちの安全な遊び場を確保して欲しいという要望が強かったと感じております。そういったところから早急に取り組んでいけるよう前向きに考えてまいりたいと思っております。

議員

十年後を見据えた産官学協働による新たな産業興しについてお訊ねします。

町長

産官学協働による新たな産業の振興につきましては、少し具体化をしてまいりたいと思っております。近畿大学工業専門学校と共に、新たな産業の振興の研究を進めていきたいと思っております。川下りや古道ウォークなどの事業化に向け取り組んでまいりたい。

議員

若者の住宅取得支援制度はどのように考えられているのか。

町長

若者の定住促進を図っていかうということで、これから十分部内でも検討し、町づくりと連動した中で、若者の住宅取得を支援できないかとも思っております。

議員
若い人たちと明日を考えたという中で、子育て支援センターについて、町長のお考えは。

町長

子育て支援の方策については、いろいろあるかと思いますが、子育て支援センター的な、相談したいときに気軽に相談できる場所づくりに取り組んでいきたいと思えます。

産業振興会館

議員

産業振興会館について、どういう計画なのか、またどのような流れなのか説明をお願いします。

担当課長

平成十七年度に旧両町村で地域再生計画を策定しておりまして、その中で産業の振興、道路の整備、防災機能の強化、地域環境の改善等、新紀宝町全域を計画いたしております。その中の産業振興の一環として、候補地は決定いたしておりますませんが、駅前周辺を商業振興地域として位置づけ、その拠点として産業振興交流センターを整備していきたいと

計画しております。また、津波の避難場所としても位置づけていきたいと計画しております。

議員

もし、この事業の時期を延ばすと何か弊害とか問題はあるのでしょうか。

担当課長

国から地域再生計画の指定を受け、まちづくり交付金事業等として平成二十年までの三年間の事業計画を国に提出しております。産業振興交流センター整備を数年間延ばすと、道路、防災施設や環境の整備など関係する他の部分にも影響を及ぼしますので、計画のとおり進めさせていただければと思っております。

町長

新しい町づくりの初期の社会資本整備という形の中で、予定通り進めさせていただきたいと思っております。

議員

財源がない中で、地域の要望も数多く、余分なものではできるだけ省いていただき、やらなければいけないものはどうしてもやるという、メリハリのある行政を担当していただきたいと思えます。

- ・新しい町づくりについて
- ・健康と癒しの森（診療所温泉複合施設）基本計画について
- ・RDF処理料値上げについて

徳光 案 地

新しい町づくり

議員

保育料の軽減についてですが、保育料は、三年間かけて調整すると合併協議会であったいしましたが、この軽減が三年間で一千万円強の出費になると思う。この調整するといったことに対して問題はないのか。

町長

三年間で調整していくという道を進むべきだろうと思う。ただ、保育料については、それらを踏まえ、政治的な判断として、年間三万六千円程度の軽減を図ってまいりたい。従って、合併協定書に対して

ような支援、または応援して
いくのか。

町長

若者が住宅取得するときに
ネックになる部分当然あると
思う。そういったものを総合
的に、各団体とも協議し、若
者に対する支援ができる制度
を提案させていただきたい。

議員

町で造成して、住宅を立て
る土地を提供するとか、ただで
はないですか。できないのか。

町長

長期的に検討できるもので
あれば検討していきたい。

議員

休日、一時、延長保育です
が、休日も仕事をされている
方々にとって、喜ばれる事業
だと思う。こういったときに
は、保護者負担等も入ってく
るのでしょうか。

町長

保育料金をどうするか。サ
ービスの部分については、ご
負担いただくことになろうと
思う。これから議論し、調整
し、実施していきたい。

議員

休日保育等を実施して、若い
方が安心してお仕事等できる
環境をつくっていただきたい。

いていたようなことを聞いた
のですが。内容をお聞かせ願
いたいと思います。

担当課長

この土地の寄付をしていた
だくときの条件ではなく、三
姉妹の方の希望として、土地
の使用目的は町に任せます
が、亡き父藤平寛の名をなん
らかの形でできれば残して欲
しいとの申し出がありました。

次に児童保育の実施ですが、
どのような形でいつ頃実施予
定が立てられているのか。

町長

その区の施設、集会所を午
後三時から五時、六時まで開
放して、そこへ行けばみんな
に会える。そのような子ども
の溜まり場的に利用できる場
所を提供して必要があると思
う。できるだけ早い時期に
つくってまいりたい。

議員

そういう場を提供していた
できれば、地域の方、ボラン
ティアの方も支援に回ってい
ただけるのではないかと思う。
青少年健全育成のためにも実
施していただきたい。

健康と癒しの森 基本計画

議員

健康と癒しの森（診療所温
泉複合施設）基本計画につい
て、この基本計画は、計画書
に沿って実行されるのか。

町長

この計画につきましては、
今までの検討結果を踏まえ、
皆様方のご意見を頂戴しなが
ら再検討してまいりたい。

大綱説明及び諸報告

議員

新町建設計画主要事業のう
ち、矢測中学校新築計画につ
いて、この新町建設計画とい
うのは、平成十六年十月十三
日第九回合併協議会において
決定されたとありますが、こ
のときに間違いはないですか。

担当課長

十月十三日に決定をしてい
ただいております。

議員

新町建設計画というのは、
間違いなく、この中に書かれ
ていることは決定されている
ということですね。

担当課長

合併にあたりましての計画
ということで、決定いただい
ておりますが、実施計画では
ございませんので、その点だ
けご理解賜りたいと思います。

議員

矢測中学校の新築計画につ
いて、だいたい何年度までに
実施するのか。お聞かせ願いま
す。

町長

矢測中学校の問題も新町建
設計画の中で検討し、主要五
項目の事業で行つていこうと

議員

担当理事はこの基本計画を
踏まえ、どのように思われて
いるのか。進めていくのか。

理事

基本計画については、大き
く三つの視点があると思う。
一つは診療所の建て替え、も
う一つは、高齢者のリハビリ
健康増進施設。もう一つは、
紀宝町の森林をどのように利
用していくのか。こうした問
題も含めて検討していかなけ
ればいけない。ただ、医師の
確保をやはり最優先してかざ
るをえないだろうと思う。

RDF処理料値上げ

議員

RDF処理料値上げにつ
いてですが、来年度より一ト
ン当たり、二・六倍値上げす
る案を、各市町村に提示する
と知事が発表されました。こ
れからもっと、不足額が出て
くると思われるが、町として
どのような対応していくの
か。

町長

町としましては、発電所の
当初の経緯からして、大幅な
値上げは理解しがたいため、

清掃センター関係市町ととも
に強く働きかけを行つてまい
りたいと考えています。

議員

RDFを地元で処理するこ
とはできないのか。

担当課長

地元で処理するということ
は、焼却炉の問題等、非常に
経費がかかってくると思いま
す。

阪本守央議員

- 井田海岸浸食対策について
- 井田字小僧ノ上の土地について
- 大綱説明及び諸報告について

井田海岸浸食対策

議員

井田海岸の浸食対策につい
て、カメ公園の前から御浜町
よりに植林がある場所です
が、そこへ県の人工リーフの
契約で二基設置する案がある

についても検討しながら、総合
的に考えてまいりたい。

議員

これからの紀宝町の農業は
どうなっていくのかと心配さ
れている農家の方もおられま
す。細かい方策は結構ですの
で、他の市町村に負けない一
次産業対策を行っていくとい
うような決意がございました
ら、ご披露していただきたい。

町長

第一次産業の取り巻く状況
は、依然厳しく、農林水産行
政につきましては、新町建設
計画に農林水産業の事業が示
されています。建設計画の事
業展開を行う上で、制度事業
等も含め、積極的に推進をし
ていきたいと考えております。

榎本健治議員

- 新しい町づくりについて
- 保育の充実について
- 少子化に対する子育て支援につ
いて
- 議会中継について

と思うのですが、早急にして
いただけるよう、県の方へ言
っていたきたいのですが。

町長

井田海岸の浸食対策につい
て、聞いているところにより
ますと、十四基の人工リーフ
を設置するとなっておりまし
て、あと四基計画上では、井
田地内で残っているとのこと
です。これの設置に向け、早
急に国、県等に要望してまい
りたい。

井田小僧ノ上の土地

議員

井田小僧ノ上の土地ですが、
昨年一月に故藤平さんの相続
人の方々から寄付を受け、計
一万三千四百十二㎡の土地は
同年三月三日に所有権移転登
記済みになっていると言ふこ
とを聞きましたが間違いな
いでしょうか。

担当課長

この寄付採納の移転登記に
つきましては、議員のおしし
やるとおり、平成十七年三月
三日紀宝町に登記になってお
ります。

議員

寄付を受ける際に条件がつ

新つ町へん

議員

まず最初に、先月二月五日
の紀宝町町長選において、当
選されました西田町長に心よ
りお喜び申し上げます。地方
を取り巻く厳しい財政状況の
中、十年後、二十年後、まし
てや五十年後を見据えた町づ
くりや行財政改革が必要です。
初代紀宝町長として、どのよ
うに取り組んでいかれるのか。

町長

励ましのお言葉をいただき
まして、ありがとうございます
でした。これからもご指導、ご
鞭撻を賜りますようお願いを
申し上げます。新しい町づく
りにつきましては、高齢者の
皆様方にも生き生きとした生
活を送っていただき、至ると
ころから子どもたちの歓声が
聞こえる。そういった賑やか
な、活力と幸せに満ちた町。
皆さんが幸せで住んでよかつ
たなといわれる安全安心な町
づくりを進めていくというの
が、私の基本方針でございます。
五十年後、百年後に町民
の皆様方に合併して良かった
と喜んでいただける町づくり



第3回定例会



に向けて懸命に努力をしています。

保育の充実

議員

保育サービスを確実に提供する観点から、住民の意見を踏まえて、保育の計画的な供給体制の整備や、その質の向上を図る必要があると思います。多様化する保育ニーズに対し、保育料の軽減、休日保育、一時保育、延長保育、そして学童保育について、どのように実施していくのか取り組み

について伺いいたします。

町長

保育料の部分は、年間三万六千円程度軽減をしていくというところでございまして、旧紀宝町は十三階層区分ですし、鵜殿は十一階層区分でございします。保育料の軽減につきましては、一ヶ月一律三千円ではなくて、階層区分ごとに状況を考えながら、年間三万六千円程度の減額と軽減ということで、実施をしてみたいというふうに思っております。七月を目途に決定をし、また、皆様方にもお諮りをし、ご理解を賜りたいと思っております。休日保育・一時保育につきましては、今後の対応につきまして、実施していく場合はどの保育所で実施するのが良いのか、また、保育時間や保育料金等はどうかといったいろんな課題を、各保育所の保護者から、休日保育、一時保育の実施に向けて検討してみたい。早期実施に向けて検討してみたいと考えているところでございます。早朝保育、延長保育については、鵜殿区でも四月から実施をして

まいりたいと思っております。

少子化に対する子育て支援

議員

新しい町づくりについて、安心して子育てができる子育て支援体制の強化が必要です。子育て支援というのは、まず一つ目は、子どもを産みやすい環境づくり。そして二つ目は、子どもを育てやすい環境づくりです。今後、更なる子育て支援についての取り組みをお伺いします。

町長

議員ご指摘のように、安心して子育てができる。産みやすいと言いますか、そういった環境づくりをすすめていくというのが、大変大きな問題であろうと思っております。例えば、少子化の中で出産祝い金の助成とかですね、医療費の助成とか、いろいろな形の中で、実施をされておりますけれども、これからも議員ご指摘のように、学童保育まで含めた中で、子育て支援環境整備に十分努めてまいりたいと思っております。

議会中継

議員

若者の政治離れ、投票率の低下など、問題となっておる現在、今、自分たちの住んでいる地域では、どのようなことが問題になっているか。また、どのようなことが話し合われているのか。を、議論されているかなど、町民に公開しないかなと思っております。広報紙等ではなく、映像というのは、発言に思いがこもっているのか。どんな表情で質問しているのかなど映像で見ることが出来ます。議員の質問だけではなく、行政の答弁者がどんな答弁をしているのか実際見ることも出来ます。現在平日の昼間、議会が行われていることから、現役世代の方々が傍聴に来るというのは、時間的にも難しい現状ですけれども、ＩＴ、ライブカメラを活用した中継は二十一世紀の地方議会と、住民との関係を構築する新たな手法の一つだと強く思っております。当局の考えをお伺いします。

町長

した上で早急に取り組みたい。一時保育は、例えば出産等で一時帰省した子どもさん等の短期保育です。鵜殿は延長保育はしてませんでした。

議員

このような取り組みは、子育て支援として素晴らしいことなので、是非実現していただきたい。旧紀宝町では、十八年度で飯盛と井田保育所を統合して新しく安全な場所に建て替える計画がありました。鵜殿との合併で延び延びとなり、十八年度で移転地を購入するというところで、建て替えはそれ以降の計画と説明を受けています。統合することで人数が多すぎるという町長のお考えですが、鵜殿保育所はどれくらい園児が居られるのか。

担当課長

十八年度で百二十五名です。

議員

それでは統合により園児数が多すぎるという答弁はおかしいと思います。飯盛や井田保育所はかなり古い建物なので、耐震性にも問題があります。井田保育所は、ハザードマップでは急傾斜地崩壊危険地域にあり、液状化の極めて

現在、当町の議会につきましては、平日の昼間に開催いたしておりますので、勤務などで傍聴できない方もおられると思います。傍聴できない

方のために、今後、議会の内容につきましては、議会だより等の広報紙を議会の方で発行していただいて、全戸配布をしていくとお伺いしております。また、住民の皆様にもそういった形で、情報提供させていきたいと思っています。また、自治体の情報公開が求められている時代の中で、議会中継のインターネット配信等につきましては、自治体と住民の距離を縮める一つの方法ではないかと考えられるところでございます。現在、当町が備えております設備を使ってネット中継を行うことは、いわゆる技術的には可能ではございませんけれども、今後、実施していくことにつきましては、議員の皆様方と十分協議をさせていただきたいと考えているところでございます。

※この他に、若者住宅取得支援の件、次世代育成支援行動計画の件、新しい産業と若者の雇用の件に

ついて質問がありました。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。(http://www.enomotokenji.com/ipan.htm)

町長の政治姿勢と公約について

北山千恵議員

議員

政治姿勢と公約

若いお母さん方は、四月から保育料が一ヶ月三千円、年間で三万六千円下がると思います。込んでいるようですが、予算書にそのことがどのように反映されているのか分かりますか。いつから値下げを執行されるのか、また値下げをすること、どれくらいの予算が必要となるのか。

町長

昨年度の所得が確定した七月からはじめたいと思っております。

担当課長

軽減については、一律三万六千円下げということではないが、単純に計算すると十八年度で約一千三百万円必要です。

議員

地方交付税が年々少なくなる中で、保育料軽減分をどこで調整されるのですか。

町長

これからの町のあり方は、いかに行財政改革を進めていくかがあると、新しい町づくりは、省くところは省き、そうすることで出てきた部分で、支援すべきところは支援すると、メリハリをつけて運営していく。三役の報酬十％カットもその一環であり、十三・六％程度の人件費や二十％の物件費の削減も行っています。

議員

人件費の削減ってことは、職員の給料をカットして、そこから捻出するってことですか。

町長

職員の給料については、人事院勧告に従いながらやりま

すが、全体の財源を見直すことで捻出します。

議員 予算書を見る限り、新しい町になり、もうそろそろ見直しの時期に来ているのでは、と思う助成金や、その他にも鵜殿区だけのサークル活動的なもの、烏止野神社森の管理費、鵜殿小学校や幼稚園だけの助成金等は、鵜殿区に置いてきた五千万円で助成すれば、と思うようなものがたくさん予算化されています。徹底した行財政改革をするというのも町長の公約の一つです。借金が六十二億円もあり、歳入が二十％一億二千五百万円も減ってしまう中、自主財源の三十％は人件費で消えてしまいい、七十％の事業費を国民の血税に頼っているのが本町の実情です。どうしても必要なものは別ですが、もう一度助成金を見直すことで、保育料を軽減するという公約は守っていたきたい。公約された休日保育、一時保育の内容と、延長保育は旧紀宝町では以前からありましたが、鵜殿ではなかったのかを伺います。

町長

休日保育は、ニーズを調査

したので、その方向で進むと思います。保育所のあり方として再検討する必要があります。

議員 統合しないのなら、二つ保育所の建て替えが必要になります。

町長 計画では統合なので、これから研究、検討をしながら進めていきたい。

議員 研究、検討をいつまでされるのですか。少子高齢化のご時世に、保育園児はまさにこの地域の宝です。明日、地震が来ても不思議でない状



況下ですので、一日でも早く安全なところに保育所を建て替えていただくことを要望します。

※他にも災害対策で井田地区や鵜殿地区の津波による防災対策を質問しました。

議員 二 庸 協 門

・平成18年度予算（骨格）案について
・学校給食について

――平成十八年度予算案

議員 平成十八年度予算骨格案について、効果的で効率的な行政運営のため、従来計画し進められている諸事業も、すべて同時進行するという難しさ、優先順位の選択が必要であろうと思う。この限られた予算の中で、最大の効果をあげる

というのは、この紀宝町だけではない。他市町村のこと、本町のことにについて、町長の考え方を伺います。

町長 本年度の骨格予算案の編成については、新町建設計画に基づいた町づくりを進めていく中で、特に合併特例法が適用される今後十年間の間に、健全な財政の町づくりを推進していく必要がある。これからの財政目標としては、経常収支比率七十五%以内、財政力指数〇・五%以上に、公債費比率十五%を超えないよう努力してまいりたい。

議員 この十七年度末の予測で借金が残高六十二億円、一人当たり四十八万円、一世帯当たり百二十四万円の借金を抱え、そういうことの中で、この二十七年後、この特例債を国からいただける。その間にこの紀宝町の将来のあるべき姿そういうものを築いていかなければならない。今の数値はこの十年後の数値というように理解してよろしいですか。そして、二十七年後の起債額をいくらと想定されているのか。

町長 先程の数値につきましては、努力目標ということで、認識していただきたい。この十年後の部分については、基本的には新町建設計画の中の財政計画に沿って、これからの町づくりを進めていかなければならない。起債は、十年後については、若干の変動は有る無しべつにして、現在の六十二億円の部分についても終わる部分もごさいます。そういった部分も含めて、この十年の財政計画については、合併協議会で検討していただきまして、約半分の二十五億円程度の特例債を利用する中で、この財政計画に沿って進めてまいりたい。

議員 合併をして、早速やらなくてはいけないことを、短期、中期、長期に分けて、当然年次計画なるものを示していただけたと思います。今細部にわたっての計画というのは、まだなかなか難しいと思いますが、今回のはよろしいのです。町長お一人で、この計画を推し進めるのは大変だと思います。そこで町長の諮問機関なるものがなければならないか

と思いますが、いかがでしょうか。

町長 これからの行政運営なり、行財政改革を進めていく上において、ご指摘のように、いろいろな諮問機関が必要になってくようかと思ひます。特に行財政に関しましては、民間感覚を兼ね備えた行財政運営というのも、これからの自治体に求められてくる大変重要な大きな課題でございます。そういった諮問機関については、早急にこれからの健全な行財政運営へ向けて取り組んでまいりたい。

――学校給食

議員 学校給食の問題ですが、今ここへ来て、心の豊かさは無いけども、食べ物とかそういうものに対しては、飽食の時代とも言われています。そこで学校給食の残飯で、一生懸命カロリーも計算され、地産地消、そういうような中で美味しいものをとという努力をされていると思う。やはり残飯量が相当出るのはなからうかという気がしますが、いか

がでしょうか。

担当課長

給食の残飯量ですが、現在小学校五校、中学校二校、計七校の児童、生徒、教職員の方々の給食を提供していた

だいており、計九百十六食です。また、鵜殿小学校については、児童とそれから関係する先生方等合わせて、合計三百七十食作っている状況です。給食センターの残飯量については、一日のご飯の量が、約百七十kgとなっており、約五

%八・五kgがいわゆる残飯と聞いております。副食は特に野菜の和え物等の残飯が目立つということでした。データは細かく取っていないとのことでしたが、約三%程度であると考えられているようです。鵜殿小学校の残飯率でデータを取っており、これを基に計算するとご飯の残食率が平均約六%、全体で約二・七六kg程の残飯になるうかと思ひます。副食については、献立によりまちまちですが、平均して一人当たりの残食率は約四%で全体で六kg余りという残飯の状況です。

議員

これは一日でしょう。そう

・職員教育について
・熊野川河口大橋の実現について

議員 一 憲 石 垣

――職員教育

議員

新紀宝町民の間では、新紀宝町庁舎に入りにくいとの声もあります。合併直後でもあり、また選挙から二ヶ月足らずということ、致し方のないことだと思います。職員間のコミュニケーションも今一歩の感じがするとの声もあり

ます。町長は二月六日付の号外で、旧鵜殿村民、旧紀宝町民が新紀宝町民として融合することが最大の課題と考えているとありますが、的確に旧両町村民の気持ちを語っていると思います。職員間のコミュニケーション、職員への町

長からの対応教育が第一歩と考えております。町長の考えている職員の意識改革をどういうふうに指導、改革していくのか町長の考え方を伺かせ願ひます。

町長

職員の意識改革なくして、現在今日の危機的財政状況の中協働を目指した町民自治の町づくりの実現は困難であると考えています。成果、顧客志向の概念を導入し、町民への行政サービスが効果的、効率的に提供できるかという目的意識を持ち、費用対効果や時代のニーズへの適合の点検を常に行い、適時適正な決定を行える判断能力を磨くことがまず一番大切ではないかと考えています。職員の意識改革については、啓蒙啓発を行ってまいりたいとおもっています。

議員

町民にとって頼れる心強い職員であって欲しいと願うのは、町民の心からの願いだと思ひます。これからも意識の高揚資質の向上をお願いして、次の質問に行きます。サービス業にふさわしい教育について、町長自ら指導教育を

どのように考えているのか、各課の研修等の予算はどうなっているのか、その金額も教えてください。

町長

行政サービス業という視点に立って、民間の接遇学を学ぶ必要があると考えています。平成十八年度は一日六時間程度を年二回全職員を対象に、民間講師を招いて基本を教育してまいります。予算は百三十二万円となっております。職員研修、職員講習を重ね、個人の行政能力、政策能力を磨いていくというのもこれから一番大事な問題であると思





港灣対策特別委員会

ます。そして町長の目指す開かれた町政の一つに町長室へのアポ無き訪問の対応を是非お願いしたい。

町長

私は別に来ていただいた方に身体が空いていれば、拒む気持ちもありません、すぐにも接見させていただきます。ただ手続き上、個人のプライバシーの問題等々、いろいろな状況もございますので、できましたらご協力をお願いしたいと思います。

議員

っております。私も選挙戦を通じて役場職員に対する町民の不満と言いますか、非常に強いなと思いをいたしました。初登庁後、職員には挨拶の運動からまず始めようということをやっております。町民の皆様には、庁内の環境づくりも含めて、入りやすい、またより良い行政サービス機関としての向上を図ってまいりたいと思っております。

議員

研修や講習が本当に身に付き、実りの有るように税金を使っていたきたい。また、文句や苦情は謙虚に受け止め、反省材料にして欲しいと思います。

公約実現

議員

公約実現について質問いたします。町長は公約という言葉をもとに認識をもっていますか。

町長

私は、自分なりの、これらの政治姿勢といいますが、新しい町づくりを進めていく上において町民皆様方に、こういうことをしていきたい、こういう町づくりを進めて行きたいという思いを、公報していただいて、実現に向けて努力していくことだと思います。

議員

選挙戦でいくつかの公約を述べられました。辞典によると、公約とは、一つ目は公に約束をする。二つ目は、公開の席や公衆に対して約束する。三つ目は、選挙で政党または候補者が有権者に約束する政策をいう、と書いています。紀南新聞によりますと「初志貫徹し、誠実な実行」の見出しで、五つの公約、三十の指針が出されています。西田町長の政治理念に疑問があります。合併に際し、鶴殿

ト機能を発揮することが強く求められてくると思います。このように職責に対応した適正な職員管理を行っていきたいと考えています。

議員

私は何事においても、責任説明が最も大事だと思います。仕事に自信を持って説明できる職員を育てて欲しいと思います。そして専門化になってきているということなんですが、人事異動の中で、その職員がその課に向いていると思つたら、その課に張り付けて、その課のプロフェッショナルになれるように育てて欲しいと思います。住民が安心して納得いく説明のできる職員を育てて欲しい。職責に対応した職員管理というのは、アカンタビリティのとれる職員を一人でも多く育成して欲しいとお願ひしておきます。

河口大橋の実現

議員

熊野川河口に橋を架ける会是新宮市と何団体、どんな団体が加入していますか。

町長

新宮市側では商工会議所、

くらだというんではなくて、どの階層に対して（年）平均三万六千円軽減するのか。

町長

段階の中で、一番中間といえますか、中心になる部分を、ターゲットにして、この三万六千円程度という試算で検討をしてまいりたいと思っております。六月の議会に上程されるように研究しています。

議員

四月から保育料が安くなると喜んでいる若者に対する期待を裏切ることになる。四月からやらないと、大人はまた嘘をつく、若者はまた政治離れをする。臨時議会でも開いてやる気があるのか。あなたのこれは、大事な公約です。

町長

私についても、この三万六千円程度の軽減につきまして、必ず実行してまいりたいと思っております。六月議会に向けて取り組みたい。

議員

四月一日までさかのぼりますか。

町長

それも含めて検討させていただきますと思います。

議員

木材協同組合、新宮港振興会その他いろいろな団体が加入しています。三重県側においても、商工会、木材協同組合等いろんな方が参加しこの会がで上がったということですよ。

議員

行政で参加しているのは新宮市と紀宝町ということになります。紀宝町から五十万円負担金を出費していますが、新宮市もやはり負担金は五十万円ですか。

担当課長

新宮市、紀宝町同額を負担しております。民間団体からも負担をいただいています。

議員

これからのことなんです。紀宝バイパスの件で近隣の市町村に協力いただき、工事の進行も大幅に進んだという経過もありますので、やはりこの会も他の市町村の加入を広げていつて欲しいと思います。この地方が本当に発展するには必要不可欠だと思います。遷宮に合わせるというふうに聞いていますが、一年でも一日でも早く供用開始ができれば、協力、推進をお願いして、質問を終わります。

町長

はい。検討させていただきますと思います。

議員

町長、今、にこっと笑って、町長の顔は、にこっと笑ったとき、かわいいやだ。ほんまに、そういう明るいね、議会にしたいなと、私は思います。児童保育の質問いたします。これも素晴らしい公約であります。次世代計画、支援行動計画ができたらやるんではなくて、いつからやりますか、町長。

町長

小学校低学年の放課後児童対策として、児童保育の整備、充実に努めるとともに、子どもたちの安全な居場所を確保するため、公園や広場などの整備、学校の空き教室などの有効活用を図る等ですが、実施に向けましては、時間を頂戴いたしたいと思ひます。

議員

住宅支援制度については具体的に出して欲しい。二つ目には、財政支援策は。

町長

- ・議会図書室について
- ・公約実現について
- ・大綱説明及び諸報告について

尾畑啓嗣 議員

議会図書室

議員

合併して、本議会事務局に来たところ、議会図書室がない。議員必携には、図書の設定目的と、管理の態様が書かれています。町長、図書室を作ってくださいか。

町長

地方自治法百条第十七項に、議会は、議員の調査研究に資するため、図書室を附置し、官報、公報及び刊行物を保管しておかなければならないと規定されています。役場庁舎が狭隘であり、分散して整理保管していただきたいと考えております。

大綱説明及び諸報告

議員

要支援一・二で、三百人以上有ります。支援センターの一名のケアマネージャーでは太刀打ちできないと思うが、どう対応するのか。

町長

人員の確保等の問題が出てこようかと思ひます。課長と相談して取り組みたい。

議員

諸報告の中に①危険にさらされている②一層困難を深める③不審者情報等があるが、まさしく、憂慮するところがあるが、具体的には、どういうことなのか。我々大人として子どもたちをどう見てかならんのか。具体的なこの三つの説明を。

教育長

昨今、この社会の風潮として、高齢者や障害者、あるいは子どもたち、いわゆる社会的弱者といわれる方々のところに犠牲が非常に大きくのし

かかっています。平成十八年度は学校安全体制整備推進事業とスクールガードリーダー事業に名乗りを上げて、一年間に四百五十時間分の県費支給で町内巡回をしていくリダーを要請しています。

議員 吉元 登立

- ・町長の政治姿勢について
- ・少子化対策について
- ・防災対策について
- ・地籍調査について

町長の政治姿勢

議員 初めに、合併による初代町長、その一年目に当たりその思いのほどをお伺いします。既にいろんなところでお話しになっているかと思いますが、一点ご所念をお訊ねいたします。町長の性格というか、個性といえますか非常に強烈なものを感じます。首長としての

資質ということからすればその強さは魅力的であると感じます。ただ二つの自治体が一つになったというそのスタートの段階でございまして、今必要なものはバランス感覚ではないかと思えます。どのよう舵取りをされるのかご所念のほどをお訊ねいたします。

町長 新しい町づくりの中で両町村民が合併をしたということ踏まえて、これから一体となつて新しい町づくりを進めていくことが一番大事であると考えます。両町村民の一刻も早い融合を図っていくことが私どもに課せられた一番大きな課題だと考えます。懇談会を設け、それぞれの地域におけるニーズといったものを肌で感じる中で、これからの新しい町政に生かしていければと思つています。

議員 議会と行政は両輪とよく言われますが、議会議員二十五人が束になつてかかつて、町長、首長の持つている権限にはかないません。それほど町長の責任は重いということでございます。どうぞその辺を留意してお励みいただきますよ

対応はどうか。
担当課長 防災計画を新町で速やかに作成します。それまでは旧町村の体制で実施します。

地籍調査

議員 行財政改革の観点からしても前倒ししてもやるべきと考えますが、初めに進捗状況は。
担当課長 三年間で井田地区の十二・八％です。

議員 それではあまりにも厳しい。行政を進める上でも、民間のこととしても大変メリットの大きいものと考えます。この事業は三つでも四つでも同時進行型でできると思うが。しかも町長二十五％でできると思うが。

町長 必要性は理解しています。ただ二十五％には人件費が入っていません。前倒し等については研究をしてまいります。
議員 行財政改革を進める上では有効なものです。遅れば遅れるほど複雑化し、トラブルの

議員 池田 嘉徳

- ・町長の施政方針について
- ・紀宝バイパスと河口大橋建設について
- ・地場産業の振興について

町長の施政方針

議員 平成十八年度の財政状況に於いての説明の中で、国や県の各財政支援があるとしても数年後の基金枯渇が懸念されるとありますが、今後の見通しはどうか伺いたい。
担当課長 現在、財政調整基金は二億

円しかございませんので、現状のままですと基金を取り崩

うに。歳出削減のため補助金カット等ご努力をいただいているところです。保育料にしても軽々に値下げすることがいいのか。また上げなければとなるとそのリバウンドを心配します。合併後ということでは何とかなつても、この十年でさえ国からの支援は減つていくでしょう。今予算が組めれば良いというものではない。その後のことを考えて留保できるものは留保することが大事です。給与十％カットにしても、私は町長の激務に対する対価だと考えます。簡単にカットするのはいかなるものでしょう。もし下げた状態でも十分なのですということであれば、審議会に諮つてきちつと下げるべきです。長期的な見通しということであれば資料を後でも出していただきたい。農政問題として担い手の問題、農地の荒廃等についてご所見をお伺いいたします。

町長 保育料の問題としては、若い人が紀宝町に住みたいと思えるような政策として取り組んでまいりたい。地方交付税の原資については若干回復したと聞いています。報酬軽減です

してしまいます。従つて特例債で五年かけて基金を造成して、それに備えることになります。

議員 大変厳しい状況だということがよく分かります。合併後十年間、公的支援のあるうちに自立できるよう行財政改革を進めなければなりません。民間参画の行財政改革委員会を立ち上げて、この財政の健全化、行政のスリム化事業の推進していく必要があると思ひますが、町長の見解を伺います。「二年の計は元旦にあり」という言葉があります

が、合併初年度の町政への取り組みが重要であります。今後の町づくりに向けて、しっかりとした政策を積み上げていくことにより、後世への負の財産を残さないように更なる熱意を持つて取り組んでいただきたい。

町長 合併特例を活用できる今、行財政改革を推進して、健全な基盤の確立を図りたいと考えています。そのための行財政改革委員会を設置し、実施計画の策定をしていく必要性はあります。委員会は民間経営感覚を備えたものにし、徹

が、自らの痛みを感じるそういったことが一番必要じゃないかと思つています。農政につきましては、後継者の担い手の問題、環境保全等大きな課題があると思ひます。農業のあり方、また農地保全等について取り組んでまいりたい。

少子化対策

議員 この問題は地方では既に当たり前の課題ですが、政府ではようやくして声高に言い出しました。昨年就任した大臣の言葉は新年度予算でトーングダウンしている。やはり中央では地方の痛みが分かつていないのか。子どもを産める環境、育てる環境、就学費用等考えたら産めませんという声もある。大学に行かせるために借金との報道。そこで思い切つた奨学金制度を設けてはどうでしょうか。

町長 保育所等にしても一般財源化ということで補助金の軽減となつている。そうした中、子育てに対する不安を少しでも取り除いていくというのも大事なことを考えています。

底した行財政改革を進めたいと考えています。

バイパスと河口大橋建設

議員 紀宝バイパスは、昭和四十七年に事業化されて以来、未整備の区間があり、三十年余の時間経過があります。紀宝バイパスのこれまでの経過と現状を説明してください。

担当課長 昭和四十七年度の事業化により、上野地区から飯盛地区の交差点までを完成し、供用開始区間は二・二km、未整備地区は一・六四kmであります。家屋移転者を伴う地権者からは、ほぼ同意を得ていますので、残りの人々に対し、引き続き交渉に努めています。

町長 紀宝バイパスと河口大橋の道路整備につきましては、新紀宝町にとって欠かせない大切な地域振興であり、多方面にわたる波及効果がでるインフラ整備であると思ひます。地権者、町民の皆様のご協力とご指導を受けながら、一日でも早く供用開始ができれば



港湾対策特別委員会 現地視察

防災対策

議員 近々の問題として地震津波がありますが、私たちはいつ、どこにいるか分からない訳です。ですから少しご説明いただきたい。

町長 日頃の訓練の必要性。ハード的には堤防がうまく機能すれば十分防ぐことができると考えています。

議員 もし起きたときの緊急時の

すように努力していきます。

議員 紀宝バイパスの完成がないと河口大橋もできない現実があります。これらの道路整備は、地域振興と活性化について対岸の新宮市と共有しており、広域の利益のためにバイパス早期完成に向けて全力で取り組んでいただきたい。

地場産業の振興

議員 農林業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。生産物の価格低迷、高齢化の進行と後継者不足の問題、集落の過疎化が進んだ地域の今後が心配されます。集落の活性化について伺います。

担当課長 平成十八年度において、浅里集落営農組織を立ち上げました。国庫補助五十％の対象事業です。集落を一つの農業経営体と考え、認定農業家を核として安定的な収入の確保や耕作放棄地と遊休農地を無くしていくのが目的です。

議員 従来の施策だと農林業は自滅の一途をたどります。産官



産業土木常任委員会・熊野川流域対策特別委員会合同町内巡視

行政といたしましても、農林業の振興のために、産官学プロジェクトチームの役割も今後の課題として考えていきたいと思っています。担い手問題と後継者育成に對しましてもできる限りの支援をしていき、一人でも多く地域で産業に携われるように努力いたします。

平野美津子議員

・町長の政治姿勢について

学プロジェクトチームの活用については、中山間地域の活用化に目を配っていただき、町の全体的なバランスを望みます。また地場産業の振興では野菜作りなどの指導、勉強会を開催して計画的な生産ができる仕組みや、生産農家の収入を上げる指導と国や県の助成制度を活用した施策をお願いしたい。それにはまず、農林業に関わる人々が自分自身の問題として、自らも積極的に行動することが最も大切ではないかと思っています。

町長

「職員の意識改革を進めます」という公約をされております。新しい町づくりのためには、スタッフ作りが大切だと思います。町長がきちんとした方針を出すことによって、

町長の政治姿勢

議員

「職員の意識改革を進めます」という公約をされております。新しい町づくりのためには、スタッフ作りが大切だと思います。町長がきちんとした方針を出すことによって、

学援助金は国の基準通り実施する。と回答、町独自には行わない（障害者自立支援法について（自己負担が増えましたが町独自で補っていく考えはないと回答）まなびの郷運営サポーターの予算について（対象人口がこれまでの鵜殿村の倍以上になっているのに、昨年より少ない百万円では少ないのではないかと、また素晴らしい音響設備があります

町長

できるだけ早くそういった多くの自主防災組織ができすように、これからも頑張つてまいりたいと思っております。

以上その他の質問につきましてはスペースがありませんので簡潔にまとめて報告します。お年寄りが元気に働くためにも小規模農業をされている方の作物の販売、合併による雇用の削減に対する対策、財政的な潤いに繋がる施策について、幼保一元化（国が幼稚園、保育所の一元化を進めている中で紀宝町は、幼稚園についても現状でいくという回答を得た）小中学校の児童、生徒に対する就学援助について（保育所の経費や就学援助については、国からの交付金に入れられるようになり同じ状態ですが、町長は公約で保育料は一人平均年間三万六千円減額する。としましたが就

職員も生き生きと働けるんじゃないかと思っています。住民のための自治体職員づくりの展望をお持ちでしょうか。

町長

これからの町政は、大変財政状況が厳しいので肅正化しなければならぬ課題であります。そういった中で職員の意識改革、要するに政策能力の向上と資質の向上が一番大事なことであると思います。職員の資質向上を図り、政策集団としての精鋭化を図ってまいりたいと思っております。

議員

今年の一月十四・十五日に福島県の矢祭町で「小さくても輝く自治体フォーラム」がありました。マスコミ等でも取り上げられていますが、目覚しく良い町づくりが始まっています。全体の財政状況を管理職が把握して朝から電卓を持って走り回っている。うちの職員は三倍働いている。多分皆さんの地域では二十一世紀にはそうならないであろうと自負されていましたけれど、矢祭町でできることは紀宝町でできない訳がないと思っておりますので、先進地に学んで住民に信頼してもら

えるようなスタッフ作りを要望しておきます。

議員

産官学協働の施策ですけれども、住民の意見をこの中にどのように取り入れられようとしているのかお答えください。

町長

町民の皆様方の声を反映した中で進めていけるんじゃないかというふうに思っております。

議員

町づくりは情報の公開が一番大切なことではないかと思っています。そして住民に公開することによって、民主的な町づくりを進めていただきたいと思いますが。

町長

議員ご指摘の通りだと思っております。新紀宝町といいたしましても、ホームページの立ち上げが遅れておりますけれども、これからそういった機会、手段を通じてですね、当然広報もございますし、これからどんな情報の提供をしてまいりたいと思っております。

議員

前鵜殿村の議会でも申し上げ

いただき、行政の進め方について共通認識を持つ場を多く作り一体となつて取り組める体制作りをしたい。

議員

今、町長は職員一体となつて取り組むとの答弁ですが、親方だけがごぶしを振り上げるだけでなく、職員も住民のために労使一丸となつて頑張つていただきたい。行政改善方法はセクト主義と言うか、旧来の慣例前例思考から脱却しきれなく、新しい発想も生まれにくいと考えますので、公約の一つである産官学協働による外部からの意見を取り入れるべきと考えます。それについての認識を伺います。

町長

行財政改革を進めるには、皆様方のご意見は大事です。旧来の行政サービス形態ではなくサービス業にふさわしい形の事業展開をしていく必要があります。発想の転換も民間的な経営感覚を取り入れ進め、新しい役場のあり方について検討してまいりたい。特に職場の環境整備、明るく働き甲斐のある職場作り、挨拶運動等々含めて一つひとつ取り組んでまいりたい。

げたのですが、町内会づくりは一番中心である住民がどうするかというのを考えていかないといけないんじゃないかと思っております。

町長

旧鵜殿村のことについては、申し上げるのは差し控えたいと思いますが、合併において自治会作りを進めていこうということが方向付けられてございます。今まちづくり対策課において、鵜殿区そして六組長される中で今後班長もお願いをして、これから組織作りを進めていかなければならないというふうに思っております。これからもそれらの説明会も十分開催してまいりたいと思いますし、これまでも町民、旧鵜殿村民の皆様に対して説明会等も進めてきたというふうに聞いてございます。

議員

私も地域の班長さんがどんなか知りません。そういった状況で本当に民主的な自治会作りができるのでしょうか。防災の基本的な対策をどのように考えられていますか。

町長

住民一人ひとりの防災意識の向上、自主防災組織など地

議員

諮問機関である付属機関があります。設置された地域や発足当時はそれなりの目的、効果があつて必要だったのが今時代は変わっている。諮問機関を将来合理化等の見直しについての考えを伺います。

町長

発足当時必要に応じ作られたものであります。今回合併という状況を踏まえ、行政改革推進という形も課題もありますので、必要なものは必要なものとしてより良い形で運営体制に取り組みます。

議員

各諮問機関の委員構成が金太郎飴のようでは困る。メリハリあるフレキシブルな民間的発想、感覚が行政にも必要です。同じような人の発想では良いチームが出てこないと思いますので、町長答弁の中で述べていたように、民間的発想、感覚を展開して新しい機関を作るべきです。後の質問予定項目は先の登壇議員が論議し拝聴しましたので一点だけ、議会、合併協議会等で議決され協定書に盛り込まれた協議内容があらゆる諮問機関の意見で覆るのか担当課長

の認識をお聞かせください。
担当課長

合併協定書につきましては、議会代表、住民委員の慎重審議をした大切な事項であり、今回合併するための両町村での約束ごとと申し合わせ事項ですので、安易に変更するものではないと認識しています。

議員 保子 美 東

- ・町長所信表明について
- ・少子化対策について

町長所信表明

議員

町長の所信表明で「合併は単なる行政の効率化を目指すだけではなくて、新たな町づくりの始まりでもあり、海、山、川の恵みに抱かれ共に輝き、創造するまちを基本理念として、賑やかで活力と幸せ

に満ちた町、安心安全な町づくり」に取り組まれるとのことと、町民との懇談会の実施等で具体的な取り組みがなされていくのでしょうか、まず、どのような取り組みを開始されるのでしょうか。

町長

選挙で公約をさせていただきました五つの約束を重要施策として取り組むと共に、選挙期間中にいただいた要望やご意見、また、合併協議会での新町建設計画の施策や事業につきましても町の実情や財政状況も考慮しつつ、必要性に応じて取り組んでまいりたい。十八年度で作成いたしました総合計画も所信表明で述べました基本理念や町づくりに対する考えを基本に取り組んでまいりたい。

議員

公約を重要施策として取り組み、皆様の思いをその中に反映していかれるとのことであるとありますが、公約の中に職員の資質向上を図るとあります。職員の方はある面行政に関してはプロであられると思われ、いろんな知識をお持ちで、その知識を行政に反映させていく力もお持ちだと

思います。住民の方に必要な情報の提供がなされているのか。昨年改正された介護保険法や今年改正された障害者自立支援法の情報提供についてお伺いいたします。

担当課長

介護保険法に関しては、紀南介護広域の方からパンフレットをいただきまして、広報等に記載し、自立支援法に関しては、該当者の方に文書等で通知をさせていただいてます。

議員

熊野市においては対象者のご家庭に訪問をし説明をされています。行政のサービスとして、そこまでのサービスの提供、情報の提供は必要。必要な情報を必要な人にきちんと提供していく。一人ひとりの職員の方たちがプロ意識を持って、どうすればいいのかと取り組む中で、資質の向上と共に素晴らしい町づくりの基盤はできていると思います。それを踏まえて、まちづくり対策課でも町民の声が様々に届いていると思います。どのように町政に反映させていくのかお伺いいたします。

担当課長

次の質問事項の「肥満、健康予防等」については、旧紀宝町は非常に進んでおられるので一般質問を非常に楽しみにしております。

担当課長

肥満は豊かさの象徴でもあり、その意味では結構なことではありますが、一方で、生活習慣病の基礎になっており、紀宝町では肥満度百十%以上が三十・七%でありました。

議員

肥えているものは貫禄があるって立派で地位があると私も若気のいたりで間違った認識はあったが、この認識を変えて欲しい。三十代の若い夫婦で旦那の方は皆腹が出てます。立派な太鼓腹でこの世代の将来は非常に深刻で、逆さ仏の現象が見られるかも。こういう深刻な問題に対し、我々の世代が何もしないでは済ませない。「恰幅がよい」という貧しい時代の認識を改めるべきです。

担当課長

おっしゃるとおりだと思います。町民の皆さんに健康やかな人生を送れるよう頑張っていきたいと思います。

合併協議会での新町建設計画を基に、町長の公約も視野に入れながら、各々の事業について、現在各担当課と検討をしているところで、また、今回の合併の大きな施策の一つとしては、分権型社会に即応するため、地域を取り巻く様々な問題に住民が主体的に取り組んでいける、補完性の原則に沿った自治の仕組みづくりも掲げており、自治会・地区の組織の整備に早速取り組みをしています。

まず自治会の組織づくりに取り組まれているとのこととで自治会組織ができあがって動き出してくると共に、自主防災の意識も啓発をすればその組織づくりも動いていくのではないかと思います。自主防災の必要性からも、皆同じスタートに立って稼動していける広範的な取り組みを是非お願いします。所信表明の中で障害者の授産施設の拡充とグループホームの整備を図られるとありますがお伺いいたします。

議員

十七年度に購入済みとなっています旧鵜殿村福祉センター

町長

政治姿勢

議員

今回の厳しい選挙にしても、わずか四百票弱の票差、完全な町民の支持を得たわけではございません。その辺を踏まえて、今後の町政を運営していただきたいと思います。新町長になっての成長を正直楽しみにしております。強引と思われた鵜殿時代のリーダーシップを、調和の取れたバランス感覚でもって引っ張っていくよう、脱皮されることを期待してます。

町長

個人レベルの話になって大変緊張いたしております。今回の選挙結果を踏まえ、二分した状況になって大変申し訳なく思っております。選挙結果を踏まえ、町政の運営が私の務めであろうと思っています。これまでの旧村の村長時代の話につきましては、鵜殿村も廃止になりお話は遠慮させていただきます。

議員

「旧鵜殿村についての発言を遠慮させてもらう」とは何をさして言っているのか私に

ー前の家屋を改修しグループホームを整備、福祉センターへの進入路及びバス停もいただいた寄附を充てて整備したいと杜協の方から報告を受けています。

議員

杜協主導でこのグループホームの立ち上げと運営をされることですが。

担当課長

小規模授産事業に係るグループホームでございますが、十八年度は十一名が利用することになっております。

議員

障害者支援法の改革の狙いを受けて、一部の方たちがこの施設を利用できるということですね。他に利用できない方々への支援はどのようにお考えになっているんでしょうか。

担当課長

南郡熊野三市町で広域的に取り組む、相談支援センターを設置するように検討中です。

議員

自治体として認識を高めて情報も集めて住民にサービス提供をしていけるような体制作りを町長にお願いいたします。

は分かんが、議長の見解をお願いしたいと思います。旧鵜殿の発言を控えるなんていうことはおかしいのと違う。

町長

一月九日をもって廃止されたことは事実です。私は今新しい紀宝町の町長として、これからの新しい町づくりに向けて取り組んでまいりたい、そういう想いで一杯です。

議員

まさしくやり得ちゅうような感覚の人柄が見えてきました。例えば今回の選挙でも、製紙の異常な体質をいろいろ噂で聞きます。なぜ一企業がそこまで力を入れてやるのか。非常に疑問を持ちました。今回とった態度について、私個人としては製紙に反省を求めたいと思います。お互い共存するには政治にそこまで参入の必要は無い。地元経済を思い、配慮する常識人が居るといふ認識を持ち、もう少し地域とお互いの繁栄を目線に置いてもらいたい。

その後の五千万円

議員

多分証言拒否に相当する分は、次の項目じゃないかと思

少子化対策

議員

町長も公約に子育て支援を打ち出され、県も少子化対策として乳幼児医療費と不妊治療費の助成制度を拡充し、子どもを産み育てることの経済的な負担を軽減させることを目的としています。これらを踏まえどのように取り組まれるのかお伺いいたします。

町長

不妊治療につきましては、慎重に検討してまいりたい。

議員

不妊で悩まれている方に手を差し伸べていけるのが行政ではないのかと思います。国や県の助成に加え、熊野市、四日市、鈴鹿、亀山は単独で助成制度を実施、子どもが産みやすい環境を作るのは大事、しっかり取り組んでいきたいと思

町長

これからの町づくりにについてもこれからの対策について十分検討してまいりたい。

議員

幼保一体化も研究を要望します。

肥満問題

食育

議員

議長に確認しておきたい。これまで度々私の質問に対して、答えが返ってこなかったことが多いので、よろしくお願ひします。通告書に従い「食育」について、原稿を読むのではなく、自分の気持ちを吐露してください。

町長

生き生きとした豊かな暮らしを送っていく上については、一番基本的で大事な問題であろうと思います。

肥満問題

います。ちよつと町長さんの予防線は早すぎたような感じはしているが、「その後の五千万円」はどうなっているのか。詳しい会計報告ができてくるのかを訊ねたいと思いますが、先程の雰囲気から類推して、これには蓋をしたいと思います。気持ちがありと感じておりますが。ではご答弁を。

町長

鈴木議員のご推察のとおりでございます。

議員

非常に正直で成長されました。ただと言つときですけど、議会の存在意義は消失しました。行政の不明朗なことをチェックするのが議会であり、議会がこうした態度を認めるということは議会の崩壊です。議会の崩壊についてどのような感じなのか、再度町長に質問したいと思います。

町長

先程も申し上げましたが、旧鵜殿村でこの問題について十分議論し、一月九日鵜殿村が廃止したということです。

地域活性化

議員

「地域活性化について」産業興しの具体的なビジョンが無いようなので、一つ提案したい。「健康産業を」熊野古道を一ヶ月も歩いたら大体は痩せ、肥満は解消できる。我々団塊世代は、退職してから二十年・三十年の健康維持をどうすればよいか命懸けの問題です。今は病気になる前にそうしたアドバイスをする機関は皆無です。熊野古道一帯は禁煙にして、特徴のある健康産業的な地域興しができるのではないか。

町長

鈴木議員の今の健康づくりと合わせて、これまでも議員の持論を長い年月で拝聴させていただいております。今回旧紀宝町の皆さん方にも鈴木議員のお考えというものを十分ご理解いただけたと思います。

議員

前向きな意見をありがとうございます。ございます。賢明なるバランス感覚で政治の舵取りをされることを期待して、私の一般質問を終わります。

※この他に、予防啓発の件、助役の件、政治の公平性の件について質問がありました。

可決された議案

●収入役、教育委員、固定資産評価審査委員、監査委員及び公平委員の選任同意

・収入役に田中脩也さん（前・鵜殿村助役）、教育委員に大岡春雄さん（鵜殿）、寺本秀夫さん（鵜殿）、向井哲夫さん（阪松原）、長村敏夫さん（井内）、蔵本良子さん（井田）、固定資産評価審査委員に西栄一郎さん（鵜殿）、田中康之さん（阪松原）、萩野進也さん（井田）、監査委員に川島功さん（鵜殿）、田中靖人さん（議会選出）、公平委員に酒井満夫さん（鵜殿）、木田泰宏さん（成川）、山田十司さん（井田）の選任に同意しました。

●紀宝町助役を置かないことの条例の制定 他二件

●紀宝町国民健康保険税条例の一部改正

●紀南病院組合、紀南特別養護老人ホーム組合、紀南社会福祉施設組合、紀南介護保険広域連合、東紀州農業共済事務組合、三重地方税管理回収機構、三重県自治会館組合の規約変更に関する協議

●紀宝町道路路線の認定

●紀宝町各集会施設等の指定管理者の指定（十七箇所）

●平成十七年度予算（一般会計、五特別会計）

●平成十七年度一般会計補正予算（第一号）

●平成十八年度当初予算（一般会計、五特別会計）

意見書

●国の責任を患者・地方自治体に転嫁する「医療制度改革」反対の意見書

●さらなる総合的な少子化対策を求める意見書

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。暑さ厳しき折柄、くれぐれもご自愛のほど、お祈り申し上げます。

新紀宝町で、傍聴者多数の中、十五人の一般質問で初定例議会（三月）が行われ、平成十八年度紀宝町一般会計予算等も活発な質問の中可決されました。

町長を始め、合併後の配置転換間もない状況の中での担当職員が、一生懸命答弁されていきました。真剣な討議、答弁の四日間連続の長い議会、ご苦勞様でした。

皆様に議会の内容をお伝えするのが遅くなりましたが、合併後初めての議会だよりの発行となりました。

今後、町民の皆様に関し、まれる「議会だよりの」ために努力してまいりますので、どうか愛読の程よろしく願います。

「議会だよりの」（市川）

編集委員

田中 靖人・北山 千恵
市川 潔